



大 利 根 橋 工 事 の 景 (四 月 上 旬)

架 設 工 事 中 の 大 利 根 橋

橋 長 9 8 4 メ ー ト ル、九 月 竣 工 の 豫 定

道 路 改 良 會 幹 事 都 筑 通 督

阪東太郎の流れに目下鋭意工事を急いで居る大利根橋は常盤線鐵道橋の上流側に架設工事中で、其徑間割も瀬水の關係より鐵道橋に準據してある、ここは六號國道で（昔は陸前濱街道と稱した）千葉縣我孫子町と茨城縣取手町間に位置し、橋長實に五百四十餘間（九八四メートル）、有効幅員七・五メートルを有し、鋼鈹桁二〇米貳四連、鋼構桁六三米八連から成てつ居る。地質は軟弱のため特に下部構造に注意を拂ひ、特種の耐震装置とし、鈹桁徑間には抗打基礎を施し、構桁徑間には井

筒基礎を採用し、其最長なるものは平水位以下三〇米に達せしめ、耐久耐震構造とし、鋼構桁には曲上弦の「ワーレンサブバーチカル」にし剛性に富ましむると共に公道橋として美觀を添綴するに留意して居る。起工は昭和三
九月で其後數回洪水に遭遇せるも工事は寫眞に云す如く進捗し、本年八、九月の交には竣工の豫定である。

總工費百四十三萬圓内四分ノ三は國庫補助にして他は茨城千葉兩縣の分擔である。